

岩手山妙高岳周辺の地表面温度*

Surface temperature distributions around Myoko-dake, Iwate volcano

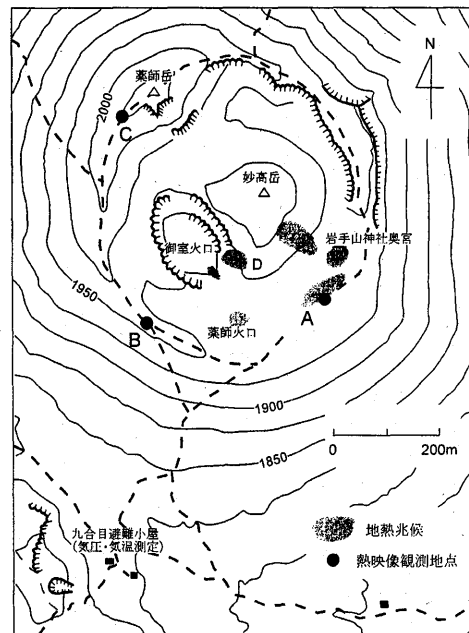
産業技術総合研究所地質調査総合センター**

Geological Survey of Japan, AIST

岩手山山頂部の妙高岳南東斜面とその西側の御室火口では、1970年の時点で300℃前後の高温噴気孔が存在していた¹⁾。岩手山の活動の活発化に伴って、今後再び高温噴気が現れる可能性もある。そこで、岩手山頂域における地熱異常の全体的な分布を把握するために、赤外熱映像装置による地表面温度分布観測を2000年9月15日(測定時の気温14℃)に行った。1999年9月18日(測定時の気温12℃)にも同様の観測を行っているのでその結果と共に示す。用いた機種はAvio TVS-620で、観測視野角25.8°×19.5°の35mm標準レンズを用いた。測定は3カ所で行い(第1図●参照)、山頂火口の南東側縁から妙高岳南東斜面方向を撮影したもの(第2図)、山頂火口の南西縁から御室火口方向を撮影したもの(第3図)、薬師岳頂上の南西の肩から御室火口内(第4図左)と黒倉山方向を撮影したもの(第4図右)からなる。この観測による地熱異常は、妙高岳南東斜面(第2図A)、岩手山神社奥宮(第2図B)、御室火口南東縁(第3図C)、薬師火口南東縁(第3図D)、御室火口底(第4図E)、黒倉山頂部と黒倉山と姥倉山の鞍部(第4図F)で現れるが、これら地熱域の温度異常、広がりには1999年から2000年にかけて大きな変化は認められなかった。

参考文献

- 1) 気象庁地震課(1972): 岩手火山の調査報告(1970), 験震時報, 37, 55-71.



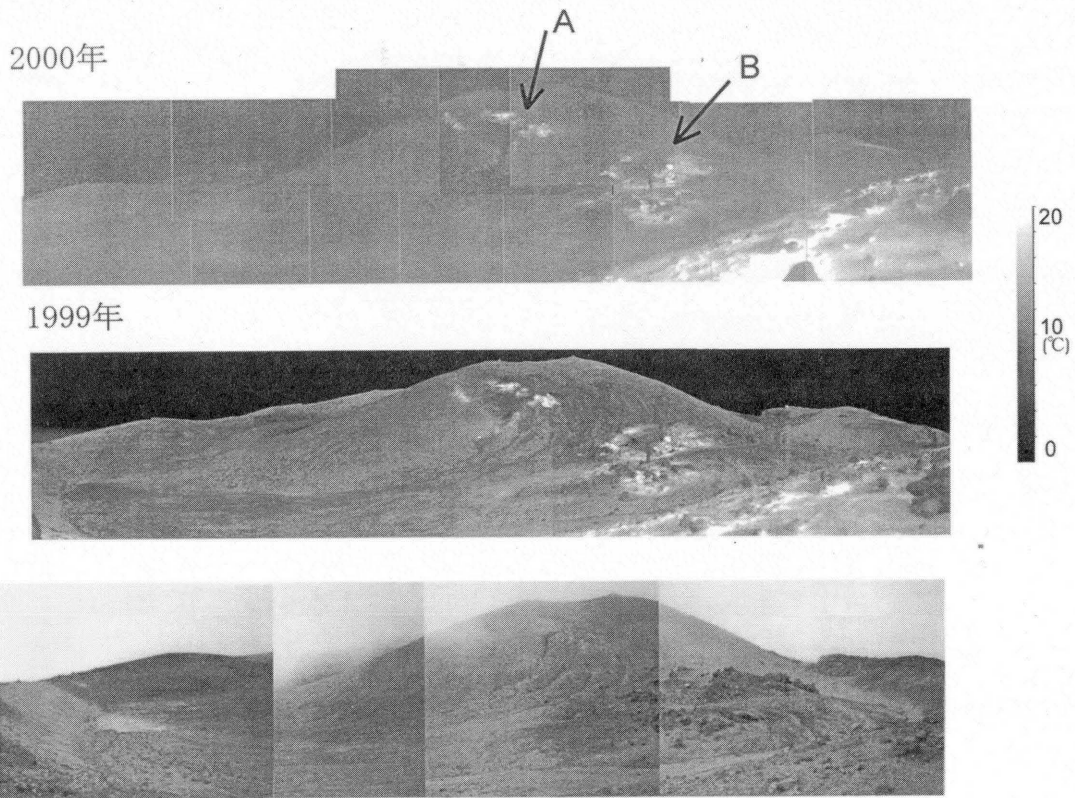
第1図 岩手山頂域の地形と観測点(●A, B, C)

Fig.1 Topographic sketch map of the summit area of Iwate volcano. Closed circles indicate the observation points of surface temperature.

* Received 4 Sep., 2001

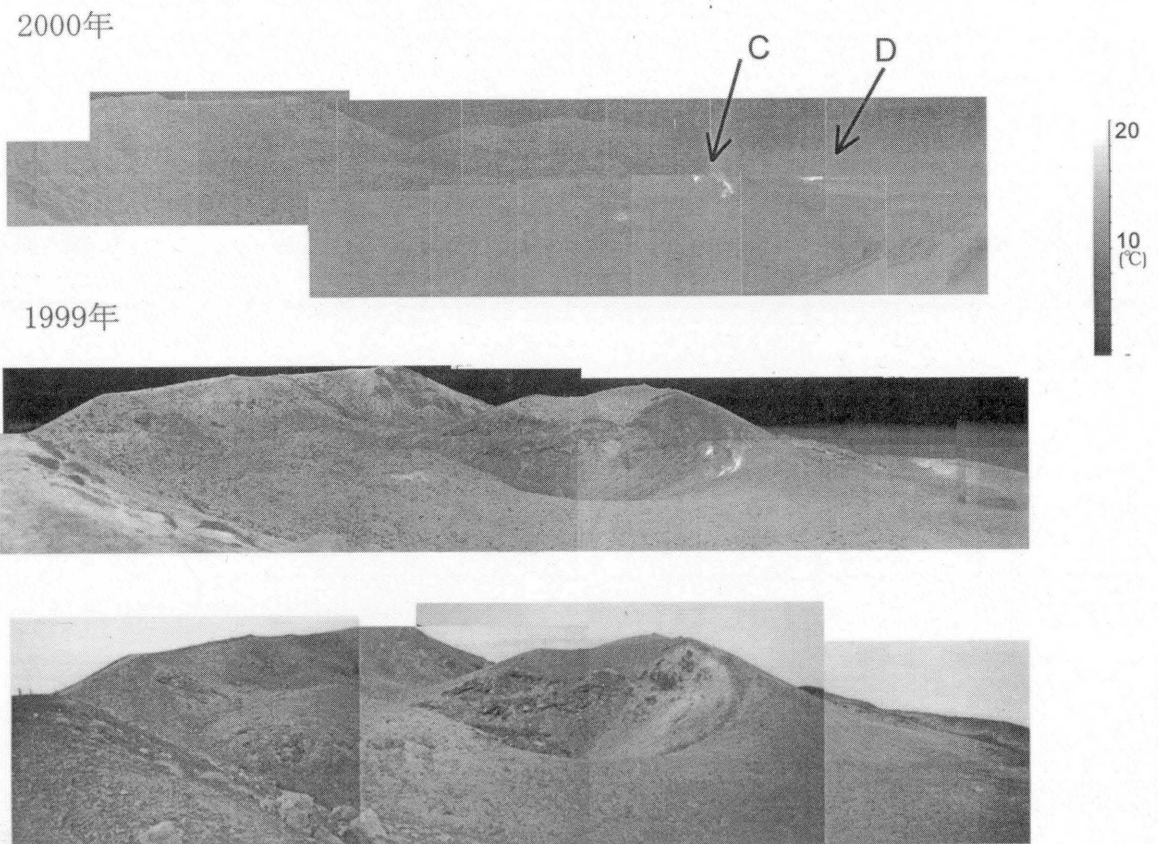
** 松島喜雄・篠原宏志・風早康平

Nobuo Matsushima, Hiroshi shinohara and Kohei Kazahaya



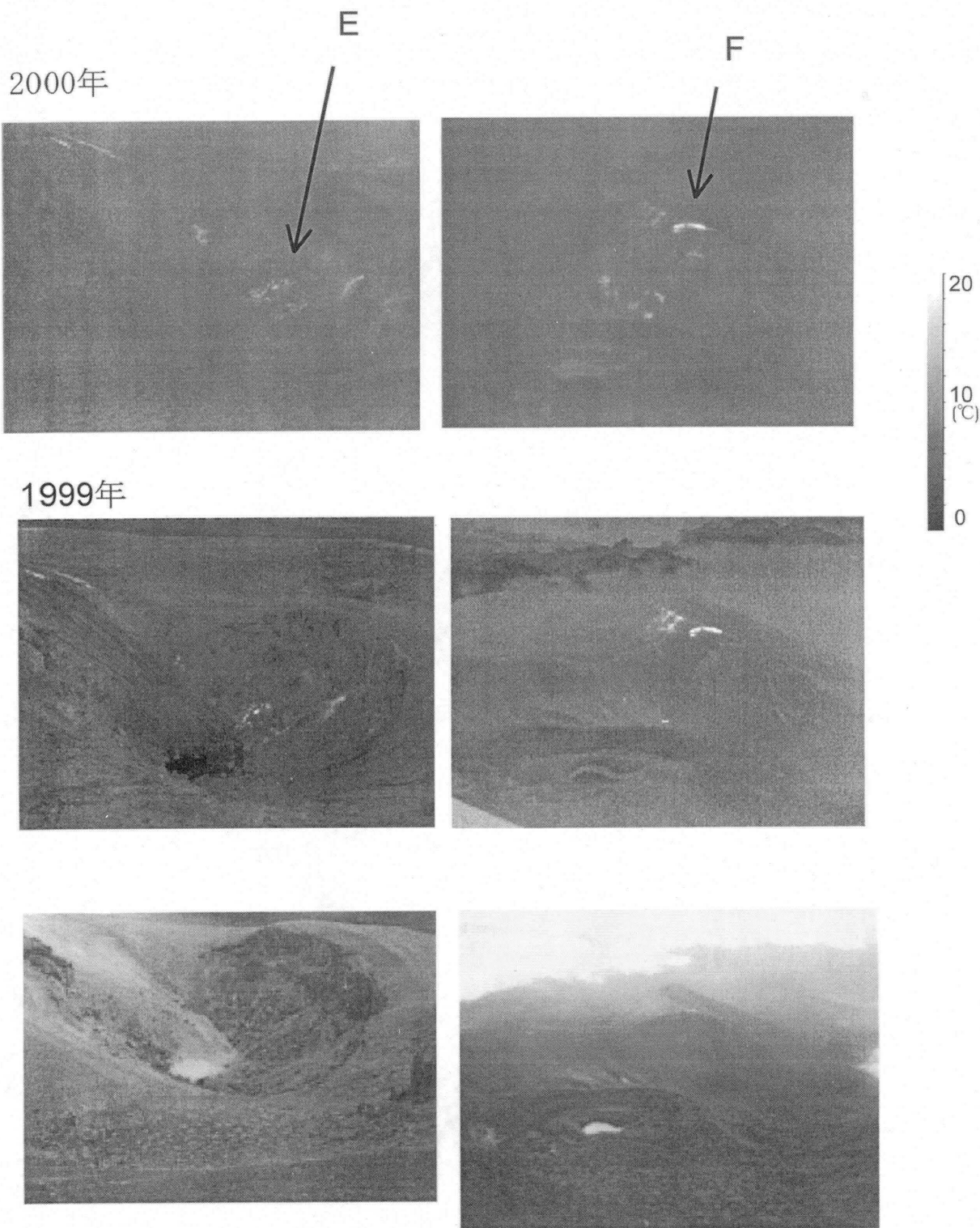
第2図 妙高岳南東斜面の地表面温度分布

Fig.2 Surface temperature distribution around the southeast slope of Myoko-dake.



第3図 御室火口周辺の地表面温度分布

Fig.3 Surface temperature distribution around Omuro-crater.



第4図 御室火口内（左）、黒倉山周辺（右）の地表面温度分布
 Fig. 4 Surface temperature distribution inside of Omuro-crater (left) and that around Kurokura-yama (right).